



図1 TruLaser Tube 3000 fiber

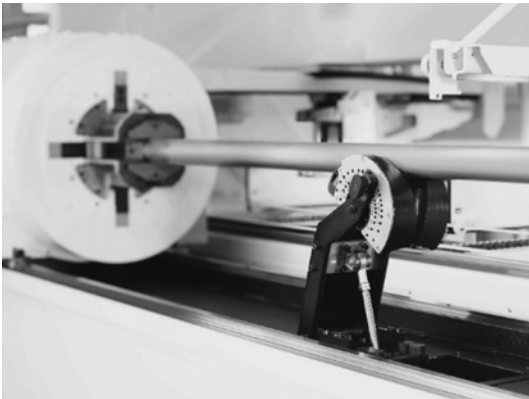


図2 ステップローラ

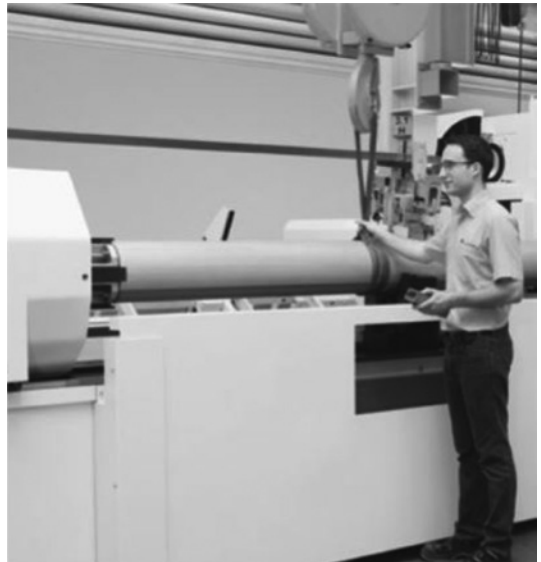


図3 パイプの手動ローディング

4.5 m から選べる。

表1 から見る複数の改良点は以下のとおり。

最大出力は 3 kW まで搭載可能となりベベル加工が可能になった。それにより加速度を最大限まで上げて切断できるラピッドカットが搭載可能だ。

TruFiber 3 kW の場合、軟鋼 8 mm、ステンレス 6 mm、アルミニウム 6 mm、高反射材である銅 / 真鍮 4 mm の切断ができる。

ローディングサポートは交換型プレートタイプではなく、パイプ径に応じてしっかりホールドできるように微調整可能なステップローラを採用 (図2)。パイプ径が変わった際に手動で簡単に回転して外接円弧を決めることが可能だ。

次に機能の詳細は以下のとおり。

①パイプ自動供給および連続安定加工

従来より実績のあるローディング装置

「Loadmaster」は、最大で 4 t の素材をストックすることができる。指定されたパイプ径を自動認識しパイプ長さを測定。傷がつかないように樹脂ローラで保護しながらストックから丁寧かつ確実に 1 本を分離してマシンへ投入。

②シームセンサ

連続で自動ローディングする際に重要な機能であるシームセンサは、パイプの外側にあるシーム (溶接箇所やビード) を読み取り、シームの位置を揃えて加工を開始してくれる。さらにステンレスパイプにありがちなパイプ内側にしかないシームを検知すること可能である。